

今年上半期のロシア丸太実売価格の動向

ロシア丸太の輸出関税率が7月に6.5%（最低課税額4EUR/m³）から、20%（最低課税額10EUR/m³）に引き上げられた。2月7日にこの引き上げ決定がロシア政府より発表されてから6月末までの約4ヶ月間に、中国へのロシア材輸入の3大陸路通関地のひとつであるソイフェンホーにおけるロシア丸太の実売価格がどのように変化してきたかを、グラフ化して分析してみた。

図1-図6は、ソイフェンホーにおけるロシア産カラマツ、モンゴリマツ、ベニマツ、シラカバ、ナラ、シナノキ丸太の実売価格を表すものである。ベニマツ、シラカバは中国からの引き合いが堅調であることに加え、丸太輸出税の引き上げ政策の発表を受け、2月から値上がり傾向をたどっている。ベニマツ、シラカバの6月下旬の実売価格はそれぞれ990元/m³、1,230元/m³であり、2月初めと比べて値上がり幅がそれぞれ100元/m³、30元/m³であった（図1、2）。

一方、丸太輸出税の引き上げ前に丸太を確保したい輸入業者が、買い手市場を無視して大量の丸太を仕入れ、市場を見ながら品目によって価格の調整を繰り返して販売量を上げようとの思惑がみられる。その結果、ナラ、シナノキとも値下がり傾向を呈している。ナラ、シナノキの6月下旬の実売価格がそれぞれ1,580元/m³、1,100元/m³であり、2月初めと比べて値下がり幅がそれぞれ70元/m³、100元/m³であった（図3、4）。また、カラマツ、モンゴリマツの価格が小幅での上下変動を繰り返しており、6月下旬の実売価格がそれぞれ895元/m³、1,075元/m³であった（図5、6）。

7月の、ロシア丸太の輸出関税率20%への引き上げを受けた主要樹種の価格が、これからどのような動向をとるかが注目されることである。

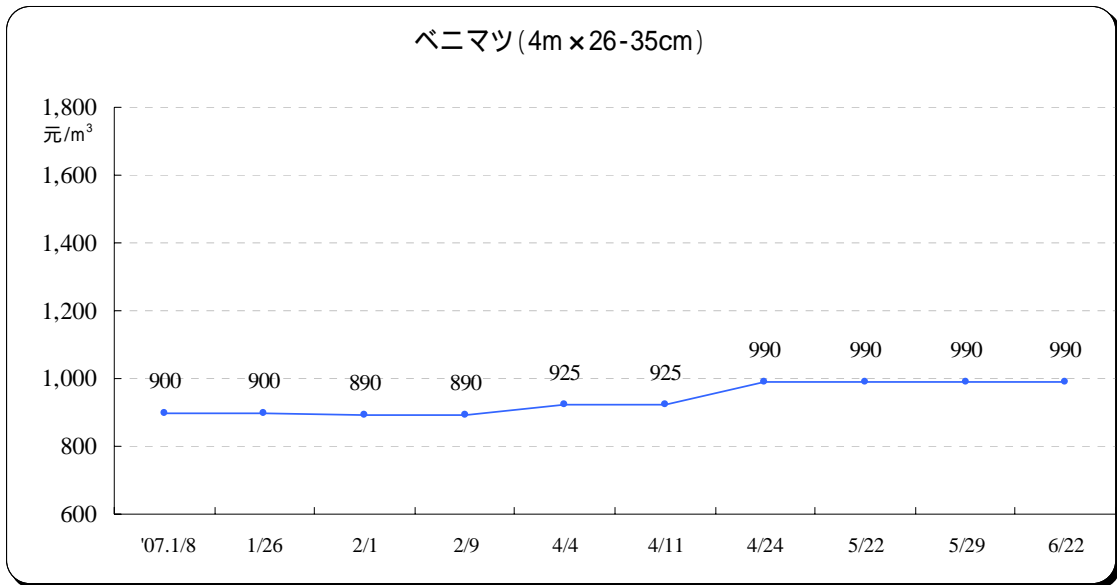


図1 上半期の輸入ベニマツ原木の実売価格の推移
出所：牡丹江木業ネット、以下同。

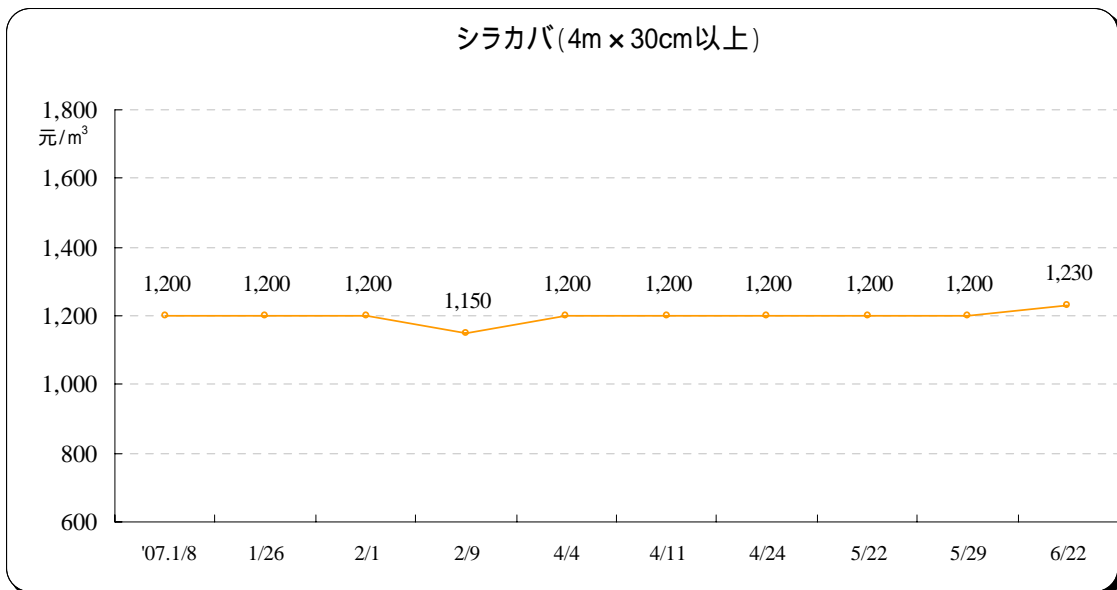


図2 上半期の輸入シラカバ原木の実売価格の推移

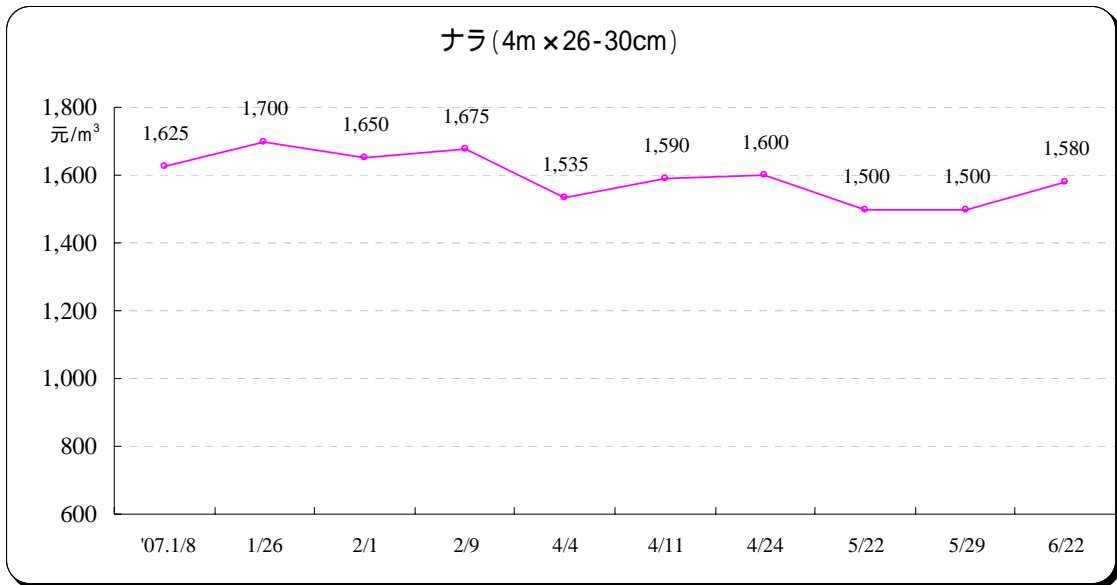


図3 上半期の輸入ナラ原木の実売価格の推移

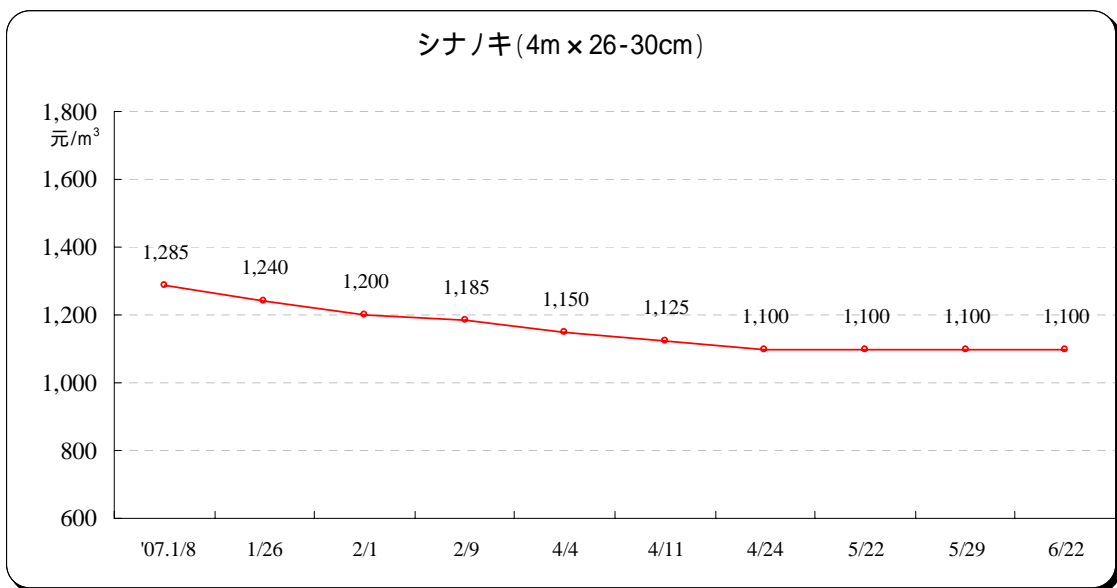


図4 上半期の輸入シナノキ原木の実売価格の推移

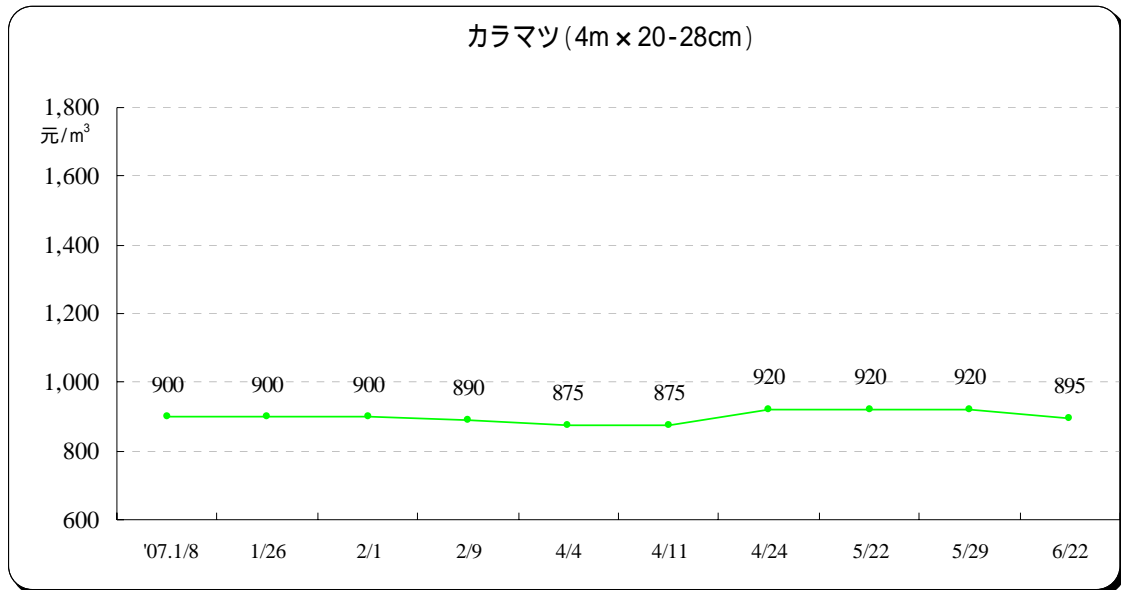


図5 上半期の輸入カラマツ原木の実売価格の推移

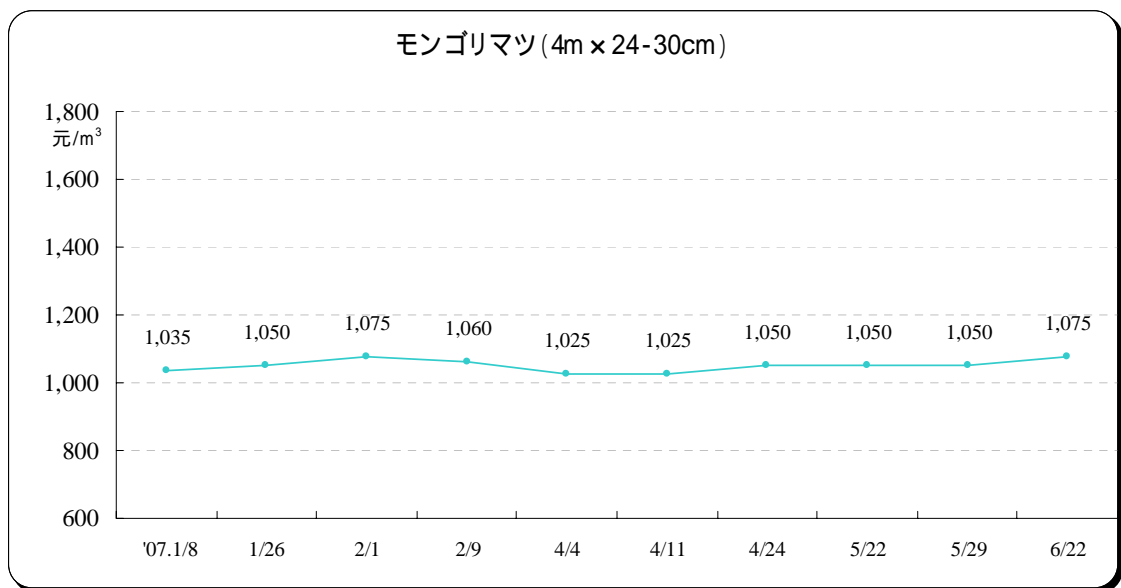


図6 上半期の輸入モンゴリマツ原木の実売価格の推移